

人権侵害に思いを巡らす

本校は明日から2泊3日で広島方面に修学旅行に行ってきます。先日、学年代表の生徒に修学旅行のしおりに掲載する文章を依頼されました。以下がその文章です。紹介します。

日本で最初の修学旅行は、1886年に東京師範学校（現在の筑波大学）が実施した千葉県銚子方面での「長途遠足」だったそうです。泊を伴う長距離の「遠足」という考えで、期間は11泊12日に及ぶものだったそうです。内容は野外の軍事教練と学術研究等の2つが合わさったものであり、生徒は気象の調査や鉱物・貝類等の観察・採集、文化財・遺跡の見学などを行ったそうです。

翻って現在の修学旅行は「旅行・集団宿泊的行事」として、学習指導要領における特別活動のうちの学校行事の一つに位置付けられています。詳しいことは、各々で調べてもらうとして…、簡単に説明すると「行った場所でしか味わうことができない様々な体験を通して、広く世の中のことを考えたり、友達と仲良くなったり、ルールを守ったりしよう」ということが記されています。

さて、巢南中学校では今年度から、修学旅行の大きなテーマを人権学習としました。人権とは「どこに生まれた誰であっても、平等に保障されるべき権利」であり、「人が人としての尊厳を守られながら、または人として大切にされ、尊厳を感じながら生きていく」ために保障されるものです。ちょうど今、社会科の授業で学習していますね。

この人権を私たちが得るまでには、多くの人々が苦しんだり、悲しんだり、あるいは不平等な扱いを受けたりした歴史があります。そして、残念ながら、現代でも人や場所、さらには置かれた立場によって、それは続いています。

今回訪れる場所は、人権侵害の最たるものの一つである「戦争」と「ハンセン病」に関わる施設等です。あなたたちのこれからの人生で、二度と訪れることのない場所かもしれません。多感で感受性が豊かな今、世の中に実在した人権侵害の事実を知り理解を深めることは、人と社会の多様性に関する理解を深めることにつながるとともに、あなたたちのこれからの生き方にも大きな影響を与えることだと信じています。

最後に、コロナ禍の影響によって、皆にとって今回の修学旅行が初めての宿泊を伴う行事ですね。友だちと過ごす3日間を思い切り楽しんでください。そして大いに学んでください。

皆にとって、大人になっても忘れることのない、充実した素敵な3日間になることを願っています。